

## 3月定例会

- 平成29年度事業の目玉 . . . . . 2～3
- 予算審査でこんな質疑がありました . . . . . 8～9
- 女性の活躍に向け、消防職員を増員 . . . . . 11
- 健康づくりは歯磨きから . . . . . 12
- 9人が一般質問 . . . . . 14～18



3月定例会は2月16日から3月21日までの34日間の会期で開きました。  
 本会議初日は、職員の定数条例の一部改正を含む条例改正4件、副町長の選任を含む人事案件4件、平成28年度補正予算の5議案をすべて原案どおり可決しました。  
 平成29年度予算は特別委員会を設置して審査した結果、附帯決議を付け全会計を可決し、最終日には、本会議場においても全会計を賛成多数で可決しました。また、初日に委員会付託された歯及び口腔の健康づくり推進条例、追加された、教育長の任命、意見書案1件を原案どおり可決しました。  
 一般質問は、9人が町長や教育長に行政事務についてたどしました。

## 大磯港みなの オアシス推進事業

**1,602万円**



漁業協同組合の建物の建て替えに伴い、港に、にぎわい交流施設（レストラン・物品販売・休憩施設など）を整備するための設計委託を行う。

## (仮称)東部子育て 支援センター整備事業

**314万円**

東部地区に常設の「つどいの広場」を整備し、子育て支援サービスの拡充を図るため、寄付を受けた建築物の解体工事と測量調査委託を行う。

# 平成29年度 事業の 目玉

## 大磯駅周辺安全・安心 にぎわい創出事業

**1,437万円**



大磯駅前広場に安全・安心な歩行者空間、にぎわい環境を創出するための計画策定委託を行う。また、駅周辺の測量調査委託、駅前駐輪場南側の土地の暫定整備を行う。

## 幹線17号線整備事業

**2,000万円**

西小磯と平塚市万田を結ぶ幹線道路。路面の状態が悪く、通行に支障をきたしていることから、舗装の打ち替えを行う。

## 旧吉田茂邸関連事業

**1,771万円**



旧吉田茂邸のオープンに伴い、吉田茂に関する企画展や講座の開催、旧吉田茂邸での研修や文化芸術講演会の開催など新たな事業を行う。

## 西久保地区 休憩施設整備事業

**174万円**



丘陵エリアのハイキングや観光環境を整えるために、西久保バス停付近にトイレとベンチを備えた休憩施設の整備に向け、測量・設計を行う。

## 農地活用・鳥獣対策事業

**676万円**



新規就農者に対して給付金を支給するほか、イノシシなどの有害鳥獣による被害対策として、西部地区で講習会を開催する。

金額は、1万円未満を四捨五入

# 平成29年度 施政方針

# 決断と実現



施政方針を述べる中崎町長

町長は施政方針演説を行い、新たな活力を生みだし、すべての人が生き生きと安全に安心して暮らすためには、「ひとづくり」と「まちづくり」が重要であるとして、今まで進めてきた「子育て」「教育」「健康」「観光」に「防災・減災」と「農業」を加えた6つを重点項目として取り組みを継続、充実させ、新たな課題に対しても「決断」「実現」に向け進める決意を述べました。

## 子育て

不安や悩みを抱える方に対し、専任の保健師等を配置する。  
妊娠・出産・子育てまで切れ目ない一人ひとりで継続した見守りや支援・相談体制の充実を図る。

## 教育

多様化する相談等に対応するスクールソーシャルワーカー等を配置し、支援体制の充実を図る。  
また、食育を通し、子どもたちが食と健康、病気との関連を学ぶ場をつくる。

## 健康

健康づくり・食育・スポーツ推進の一体的な取り組みを進め、健康寿命の延伸をめざす。  
歯及び口腔の健康づくりに向け、関係機関と連携し、町民の主体的な取り組みを推進する。

## 観光

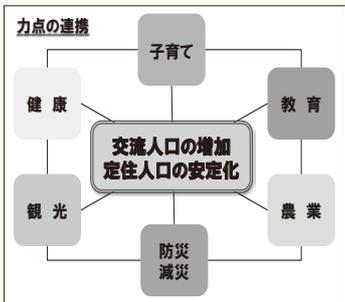
旧吉田茂邸を核に、郷土資料館と連携し、大磯の歴史・文化を発信する。  
また、大磯港周辺の賑わい創出に向けた施設整備やハイキング等の観光客で賑わう西久保地区に休憩施設を整備する。

## 防災・減災

庁舎の被災により行政運営が滞ることのないよう業務継続計画の策定や代替施設の検討を行う。  
また、自主防災組織による研修を充実させ、自助・共助による地域防犯力向上に取り組む。

## 農業

農業の担い手不足解消のため、新規就農者への支援を充実させる。  
また、イノシシを寄せ付けない環境整備をさらに進め、農による駆除や農業関係者の自衛策の支援を拡充する。



## 力点へ具体的な予算は

奥津 勝子

問 平成29年度の力点として、これまで継続的に進めてきた子育て、教育、健康、観光に防災・減災、農業を加えた。具体的対策「ひとづくり」「まちづくり」への予算づけは、町長 重点項目を進めて

いくために、車に例えればエンジンオイルが必要6つのエンジンを「ひとづくり」「まちづくり」というエンジンオイルで有機的につなぎ、進める。  
問 国・県の動きをしっかりと見据え、交流人口の増加と定住人口の安定化の実現に向けた決意は、町長 将来のしっかりとした方向づけをする。

# 5人が総括質疑

〔文責は本人〕

## 総合戦略へ、決断と実現

坂田よう子

人口ビジョン・総合戦略

まち・ひと・しごと創生



**問** 人口ビジョン・総合戦略の目的である交流人口の増加と定住人口の安定化を図るため決断と実現をいかに果たすか。戦略への明確な意識を持ち、急務である子育て支援、空き家、起業・創業支援

対策に取り組まれたい。  
**町長** 将来への決断、目標を実現し、次世代へバトンタッチするため、一歩ずつ取り組みを進める。

**問** 総合教育会議における喫緊の要事、教育現場で子どもたちと向き合う時間の確保への対応は。  
**町長** 相談体制の充実や部活動の課題解決に向けた検討委員会を開催する。

## 持続可能な町政運営か

鈴木 京子



**問** 旧吉田茂邸の維持管理、みなとオアシス事業、駅前再整備など観光関連予算が突出していると感じる。町長はこれからの町政にも責任を持つ立場だが、持続可能な町政運営ができなくなるか。

**町長** 財政健全化指標を見ると、持続可能な町政運営ができなくなる可能性は極めて低いと考える。

**問** 事業収支を見通した上で財政への影響を町民や議会に説明すべきでは。  
**町長** 影響が大きい事業は構想段階で議会に説明する。町民へはこれまで同様、総合計画実施計画で事業費などを公表する。

## イノシシ対策の予算は

柴崎 茂



**問** 農地が荒廃する原因にもなっているイノシシ対策にどのような予算措置をしているか。町民・納税者は大磯町に住んで何を願っているか。農家にとって、農作物を安全に収穫できるまで農地を

守っていくことは命がけの問題だ。地産地消を実現することは住民にとっても利益だ。町の意思を示してほしい。

**町長** 農地をどう保全していくかは大きな問題である。電気柵の設置補助金として昨年の2.5倍の75万円を計上した。また、補助対象も拡充し、町の姿勢をしっかりと示したい。

## 福祉計画改定の考えは

渡辺 順子



**問** 介護保険事業計画と障がい福祉計画の改定の考え方は。

**町長** 町の各種計画と整合性を図り、地域の実態に即した改定を進める。介護保険事業計画はサービスの必要性、地域支

援事業の内容を十分審査・検討し、改定する。障がい福祉計画は、地域移行や一般就労の推進に目標値を定め策定する。

**問** 障がい福祉計画の理念「地域の中で支え合い、共に生きる」は実現されるか。  
**町長** 全ての人が公平にその機会を与えられるようにしていきたい。

予算審査

補正予算

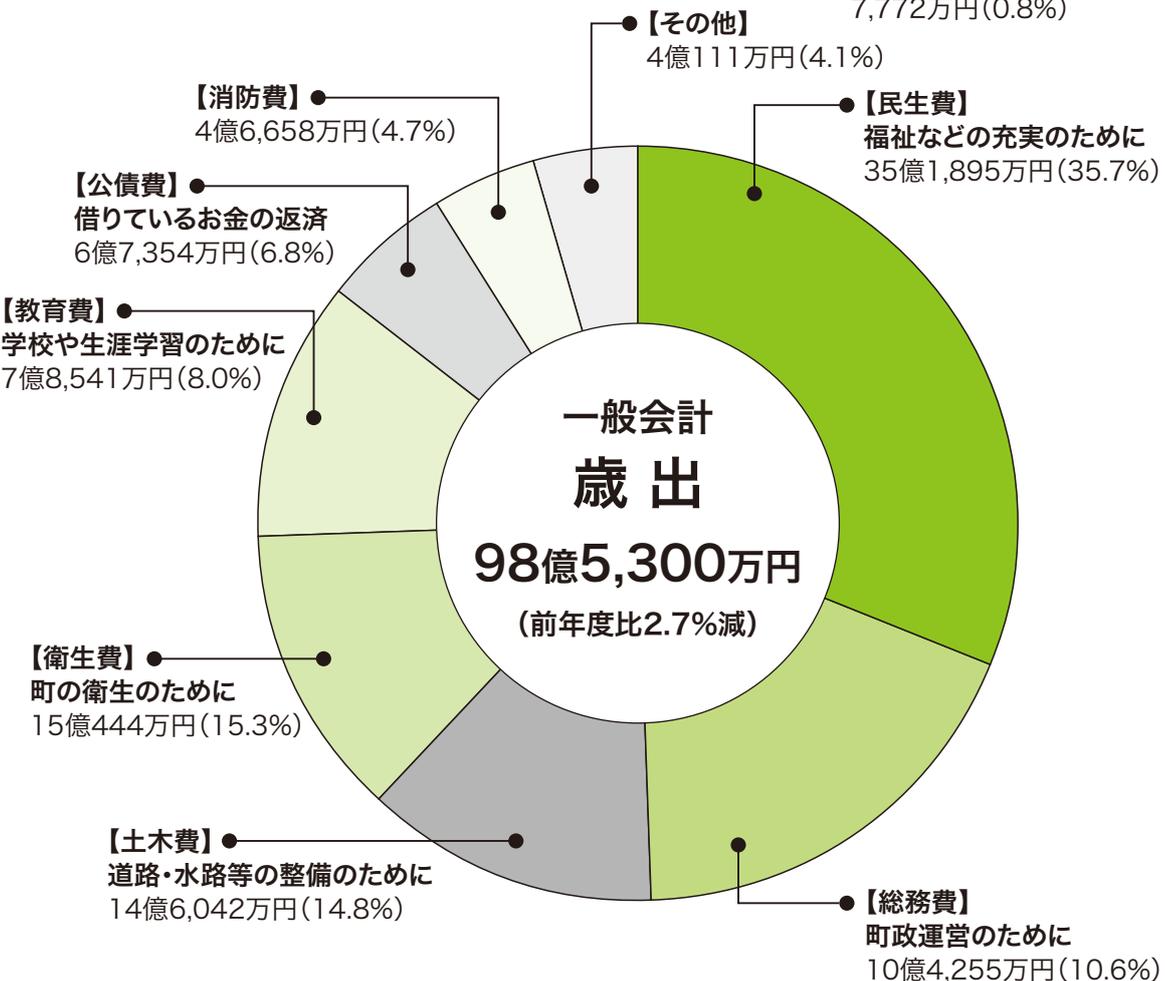
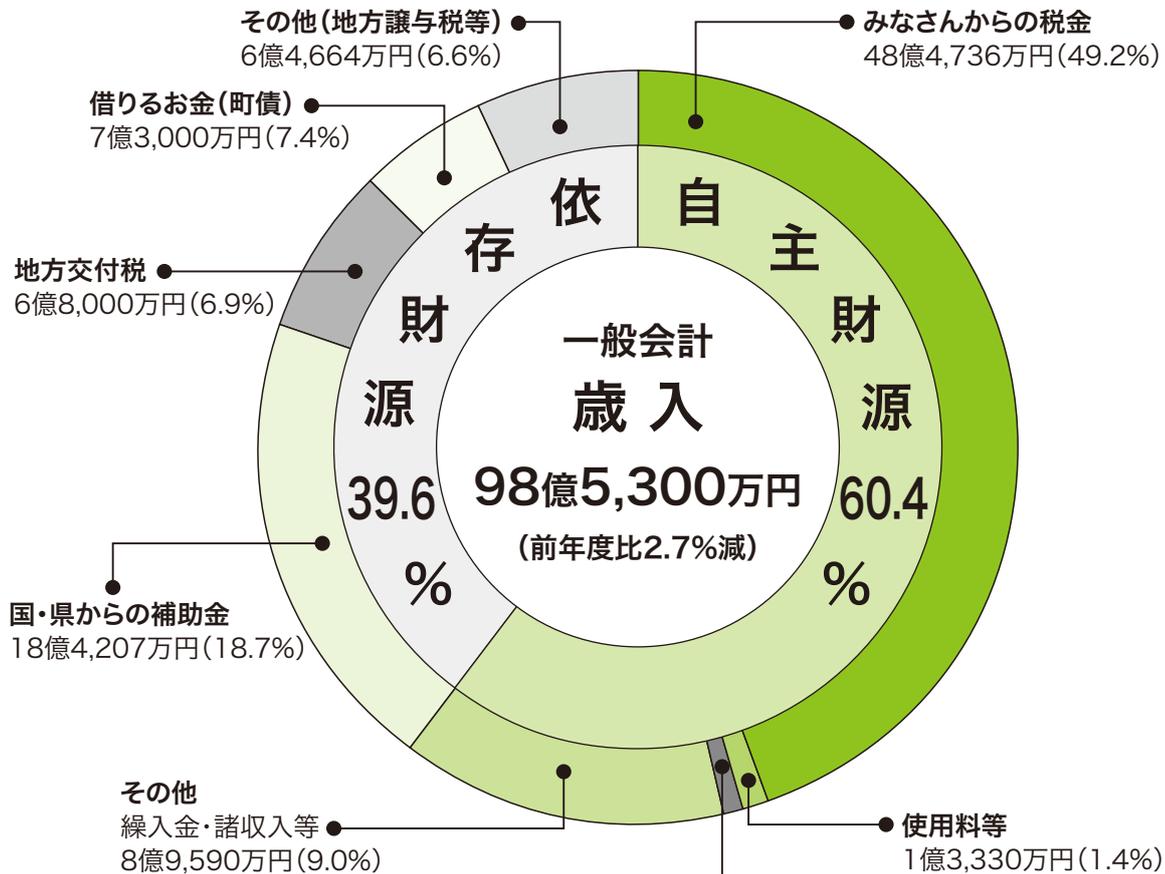
議案審査

審議結果

一般質問

議会活動

# 増える借金残高 健全財政を注視



金額は、1万円未満を四捨五入

平成29年度 各会計予算

会計名	歳入歳出予算	前年度比
一般会計	98億5,300万円	2.7%減
国民健康保険事業特別会計	46億600万円	1.6%増
後期高齢者医療特別会計	8億7,900万円	3.2%増
介護保険事業特別会計	31億100万円	4.4%増
下水道事業特別会計	18億2,500万円	3.5%増

金額は、1万円未満を四捨五入

予算審査

補正予算

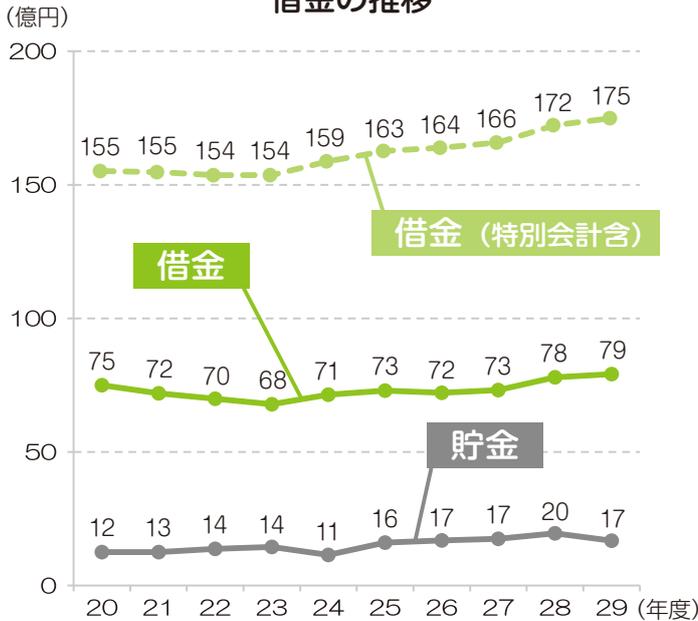
議案審査

審議結果

一般質問

議会活動

借金の推移



※28・29年度は見込み  
 ※参考に貯金(基金)の推移を記載しています。

町の借金は？

借金(町債)は、平成23年度まで緩やかに減少しましたが、平成24年度からはごみ処理広域化による施設整備などにより増加しています。

また、平成28年度は、(仮称)リサイクルセンター整備事業に伴う新たな借り入れなどにより増加しました。

討 論

全会計に反対

【鈴木京子議員】

地方消費税交付金は前年度比マイナス2千万円で、景気は戻っていない。みなとオアシス、駅周辺整備事業は町民が置き去りだ。中学校給食の残食率21.5%は高すぎる。旧吉田茂邸の維持管理費等は観覧料では賄えない。職員の働き方は危機的状況で改善が急務である。

【柴崎 茂議員】

人口も減り担税能力も下がっている中、賑わい施設をつくり、公共施設を維持できるのか。交流人口を増やしても定住人口は増えない。住むため優先のまちづくりが本来の町の姿。行政最大の目的が福祉の増進なのに火葬料の全額補助もしないで行政と言えるか。

全会計に賛成

【清田文雄議員】

前年度と比べ、町税は2千200万円増、町債は減り、安定した財源構成である。子育て支援では認定子ども園の取り組みを評価する。観光面では町全体で観光が図られるよう事業を進めてほしい。事業実施にあたっては職員の事務負担の軽減への配慮を望む。

【関 威國議員】

一般会計は人口減少を考慮した上で、課題の克服や安全・安心に暮らせる予算である。待機児童対策や子育て支援対策、懸案だった国府橋の架け替えの用地買収などの予算計上を評価する。国保会計は医療費抑制や保険税の収納率向上を要望する。

# 予算審査

## こんな質疑がありました

予算特別委員会に付託された、平成29年度予算5議案を慎重かつ厳正に審査し、4日間で218の質疑がありました。また、審査の中で、職員の就業に関する質疑が多数の委員によって行われましたが、労務管理の実態が見えないことから、附帯決議を付しました。

### 職員数

問 職員給与の任用形態別の内訳は。正規職員数は十分か。

答 正規職員258名、任期付職員37名、再任用職員21名、合計316名分を計上している。3分の1が採用5年未満の若い職員のため、単に正規職員を増やせばいい状況ではない。再任用職員が若い職員を指導し、組織力の底上げを図る。

### 職員の時間外手当

問 前年度に比べ1.5倍とした理由は。また、時間外勤務の管理方法は。

答 時間外勤務が伸び気味になってきている実情から出勤のデータも加味し、上限を月20時間から30時間に引き上げた。時間外勤務は各所属長が管理簿に基づき行っている。



東部子育て支援センター整備予定地

### 子育て支援センター

問 整備計画の内容は。また、運営に民間活力を活用する考えは。

答 寄付を受けた建物の解体と敷地の整備を行う。平成30年度にプロポーザル方式により運営事業者の選定を行うたい。

### 待機児童対策

問 事業内容は。

答 認定こども園の施設整備を促進し、安心して子育てできる環境整備のため、事業者に対し整備費用の一部を補助する。

### マリア道

問 工事内容と整備完了の見通しは何年か。

答 用地交渉が済んだ部分の造成工事を行う。平成30年度にはある程度道筋ができてくる。

### 旧東海道松並木

問 事業内容は。

答 樹木の剪定などのほか、松並木敷を一つの町並みとして捉えることで、化粧井戸や一里塚跡地などの景観整備に国の交付金の活用が見込まれるため、基本設計委託を行う。



旧東海道松並木

### 大磯駅前広場

問 駅前広場周辺の計画はどのように策定するか。町民参加の方法は。

答 地元区長や専門家をメンバーとする会議体を設置し、基本的な計画を策定する。町民参加の方法は自治基本条例町民委員会で議論されているため、事業を実施する中で考えたい。

問 西駐輪場の廃止により駅前を通過する自転車への対応は。

答 安全・安心面で自転車の動線が決まれば正式なラインを引く。

### 旧吉田茂邸

問 旧吉田茂邸の危機管理体制は。

答 消火設備のほか建物自体に機械警備のセキュリティ対策が講じられている。また、公園管理者による警備体制も整っている。

### 地域会館整備

問 整備内容は。

答 老朽化した茶屋町公民館の建て替えに向け、基本設計及び実施設計を行い、平成30年度に工事を発注する。



築65年 茶屋町公民館

### 歯及び口腔の健康

問 成人歯科検診の内容は。また、子どもたち

に歯の大切さを伝える新たな取り組みは。

答 新たに41歳から45歳までを対象とした子どもたちへの取り組みは、歯磨き指導など学校教育の中でどのように対応できるか考える。

### 指導協力員

問 配置計画は。

答 小学校に2名ずつ、

中学校には1名ずつ、  
合計6名を配置する。

小学校の段階での支援  
が重要と考え、小学校  
は各校2名体制と手厚  
くした。

### 幹線17号線整備

問 整備内容は。

答 国の交付金を活用し、  
路面状態が悪い約500メ  
ートルの舗装の打ち替  
えを行う。



現地で路面状態を確認

### 大磯中学校3号館

問 改修内容は。懸案と  
なっていたエレベータ

は設置されるか。

答 エレベータの設置も  
含めた基本設計を行う。

平成31年度には工事着  
手したい。

問 施設の環境は進路選  
択の上で重要である。

保護者に対し、しっか  
り周知してほしいが。

答 多様な進路を選択で  
きるよう、教育相談や  
就学前相談で伝える。

### 大磯小学校

問 整備内容は。

答 老朽化した音楽室、  
音楽ホール及び準備室  
の空調機の改修工事  
に向けた設計委託を行う。

### 自主財源

問 新たな財源確保策は。

答 大きな企業を誘致す  
るのも厳しく、定住促  
進や交流人口の増加を  
地道に進める。

### 防犯対策

問 防犯カメラの設置場  
所と効果は。

答 小田原厚木道路・大  
磯インター交差点は交  
通量も多く通学路であ  
るため、子どもの連れ  
去りなどの未然防止を  
目的とし設置する。



防犯カメラが設置される交差点

### 消防ポンプ自動車

問 購入理由は。

答 平成12年度に購入し  
た本署の消防車が17年  
を迎える。故障の際の  
部品調達も難しくなる  
ため、狭い場所や坂道  
にも強い四輪駆動車を  
購入する。

## 予算特別委員会から附帯決議

# 職員の長時間労働の改善を

町として早期に職員の職務実態と就業管理システムによる実態把握を行うなどの調査をすること。その上で分析を行い、対策を示し改善すること。

## 予算特別委員会での討論

### 全会計に賛成

【清田文雄委員】

自主財源比率の回復  
など安定した財源構成  
である。総合計画に基  
づき事業や取り組みが  
予算に反映されている  
点を評価する。

### 全会計に反対

【鈴木京子委員】

駅周辺整備事業やみな  
とオアシス事業は町民主  
体の進め方とは言い難い。  
また、職員の労務管理が  
非常におろそかである。

### 一般会計に反対

【渡辺順子委員】

安全・安心にぎわい創  
出事業は町民不在で進む  
ように感じる。また、景  
気回復が見込めない中、  
みなとオアシス事業の拡  
大を危惧する。

【坂田よう子委員】

総合計画の取り組み  
に対し、重点配分され  
ている。事務量増加で  
職員の体と心を心配す  
る。町独自の政策を成  
功させるためにも働き  
方改革を進めてほしい。

予算特別委員会

委員長 竹内恵美子

副委員長 玉虫志保美

坂田よう子

二宮加寿子

清田文雄

高橋英俊

鈴木京子

渡辺順子

# 補正予算を可決

平成28年度一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額からそれぞれ1千725万9千円を減額し、予算の総額は109億455万円となりました。

審議では、さまざまな事業に対する質疑が活発に行われました。



平塚市役所新庁舎に整備された消防指令センター

## 消防指令センター共同整備

平塚市・二宮町・大磯町が共同で平塚市役所庁舎内に整備する消防指令センターは4月1日から運用が開始されるが、市役所2期工事の遅延に伴い、消防指令センターの一部の設備の整備が平成28年度内での完成が見込まれないため、646万2千円を平成29年度へ繰り越す。

問 整備が間に合わなければ業者が責任を持つべきだ。繰越明許にする理由は。

答 消防指令センターの整備は順調に進んでおり年度内に完了する。市役所庁舎建設工事の遅れにより整備できない仮眠室や食堂などの整備にかかる費用のみを繰り越すものである。

問 工事は絶え間なく行われるのに、なぜ繰り越す金額が分かるのか。

答 年度末に出来高で精算をするが、3月31日までの工事の進捗は現状では分からないため、工事費全体を繰越明許費としている。

繰越明許とは  
年度内に予算執行が終了せず、翌年度に繰り越して使用。

### 燃料費

減

毎月電気料金に上乘せされる燃料調整費の単価が下がったため、本庁舎等の電気料金520万円を減額する。

### 臨時雇賃金

増

年度途中で退職や休職する職員が多かったことから、臨時的に雇用する臨時職員の賃金82万1千円を増額する。

### ふるさと納税

一般寄付金のうち、ふるさと納税としていたたいた寄付金を、左表の応援テーマの各基金へ積み立てる。

応援テーマ
福祉の充実
みどりの保全・創造
公共施設の整備
歴史的建造物等の保全・活用
その他 大磯町のまちづくり

### 保育対策支援補助金

減

町内の私立保育所を対象に保育士の人材確保支援策として、保育士及び保育支援員を前年度より多く配置した場合の補助として、歳入81万円(国・県補助金)、歳出108万円を計上したが、対象施設がなかったため減額する。

### 教育・保育給付費補助金

減

大磯町在住の児童が入所する、認可外保育施設が認可保育所等に移行する場合と私立幼稚園が新たに長時間の預かり保育を行う場合の運営費補助として、歳入104万4千円(国・県補助金)、歳出139万2千円を計上したが対象施設がなかったため減額する。

平成28年度一般会計補正予算の主な内容

歳入	
保育対策支援補助金	▲ 81万円
教育・保育給付費補助金	▲ 104万円
歳出	
燃料費	▲ 520万円
臨時雇賃金	82万円
保育対策支援補助金	▲ 108万円
教育・保育給付費補助金	▲ 139万円
繰越明許費	
消防指令センター共同整備	上限額 646万円

平成28年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算
一般会計	109億 455万円 (1,726万円を減額)
国民健康保険事業特別会計	46億8,408万円 (6,142万円を減額)
後期高齢者医療特別会計	8億9,517万円
介護保険事業特別会計	30億3,267万円 (277万円を追加)
下水道事業特別会計	18億1,316万円 (554万円を減額)

金額は、1万円未満を四捨五入

事務部局ごとの職員定数 (単位：人)

事務部局の区分	条例定数		実際の職員数
	現行	改正後	
町長	202	197	174
議会	4	4	3
選挙管理委員会	2	2	2
監査委員	2	2	2
教育委員会	52	52	26
学校その他の教育機関	24	24	7
農業委員会	3	3	1
消防	45	50	45
合計	334	334	260※

※実際の職員数は、定員適正化計画に基づき定められ、平成32年度までは260人を維持することとしています。

近隣町の消防職員数 (単位：人)

	消防署数	出張所数	条例定数	職員数	女性消防吏員
大磯町	1	1	45	45	0
葉山町	1	—	52	49	2
寒川町	1	—	58	56	2
二宮町	1	—	46	46	3

※消防吏員：消火や救助を専門に行う職員。

# 女性の活躍に向け、消防職員を増員

## 事務職員への影響は

女性の活躍の推進及び消防・救急体制の強化を図るため、「大磯町職員の定数条例」に規定する消防職員の定数を45人から50人へ、町長の事務部局の職員を202人から197人へ改正するものです。

問 女性消防吏員を何名採用するのか。

答 決まっていないが、

国と同様に消防吏員に占める女性の比率を5%としたい。

問 女性にどのようなことを期待するか。

答 防災や救急での女性の視点を期待する。

問 更衣室やトイレなどの環境整備は。

答 更衣室やトイレなど

答 整備できていないので、早急に改善策を検討したい。

問 実際の職員数の合計は定員適正化計画に基づき定められている。

答 消防職員を増やすことで、町長部局の事務職員は減らないか。

答 現業職員が退職した部分を消防職員の採用に振り替え、事務職員数を減らさない対応をしたい。

問 定員適正化計画の職員数も見直すべきではないか。

答 平成32年度までの財政推計は260人を前提としているため維持していきたい。

## 討論

### 反対

【柴崎 茂議員】

女性を積極的に登用したい気持ちは理解できないが、体力に差があるのは仕方ない。町民の命を尊重する意味で反対する。

【鈴木京子議員】

女性活躍の推進は必要だが、環境整備ができていない。これは定員適正化の見直しとセットで考えるべきで、組織の疲弊に拍車がかかる。

【渡辺順子議員】

事務職員の削減を危惧する。職員数が足りない中、定員適正化計画の見直しは必要である。また、女性が働きやすい環境に配慮し進めてほしい。

# 条例を制定

# 健康づくりは 歯磨きから



歯及び口腔機能の維持は、生活習慣病などの予防につながり、市民の健康増進を実現する上で重要な要素となっていることから、新たに、歯及び口腔の健康づくり推進のため条例を制定し、取り組みを進めるものです。

条例では、町や関係機関の責務、市民の役割、基本的な施策を定めています。

付託先の福祉文教常任委員会及び本会議において、賛成多数で可決しました。

問 条例の目標は。

答 理念条例のため、「けんこうプラン大磯」の実施計画で定め、虫歯のない子どもを増やし、成人の歯周病率を下げるなどの目標を立てている。

問 学校に大勢で歯磨きできる設備の計画的な整備が必要ではないか。

答 スポーツ健康会議でも、歯磨きできる水道設備が少なく、給食後の歯磨きの時間も短い点が指摘されている。教育委員会と連携し

検討していきたい。

問 子どもについては、いままで以上に強く意識した取り組みを実践してほしいが。

答 町と学校の取り組みがばらばらにならないように一緒になって検討していきたい。

## 賛成

【坂田よう子議員】

子どもたちの歯を磨く環境を整え、施策の効果を出してほしい。

【清田文雄議員】

健康寿命を伸ばす重要な条例。具体的な施策への取り組みを望む。

## 討論

【竹内恵美子議員】

子どもたちへの環境整備を整えるべき。理念だけでなく、周知、推進を。

【鈴木京子議員】

歯科検診対象が拡大されたが、もっと予算をつけ、実効性を高めるべき。

## 反対

【柴崎 茂議員】

歯の大切さは皆わかっている。条例をつくるだけのやり方は断固反対。

## 人事案件

副町長に **栗原匡賢** 氏を再任

栗原匡賢副町長の任期が平成29年3月31日に満了することに伴い、同副町長を再び選任する。任期は4年間。平成25年4月から現職。(69歳・厚木市)

教育長に **野島健二** 氏を任命

藤家崇氏の辞職に伴い、新たに野島健二氏を教育委員会の教育長に任命する。任期は4月1日から1年間。(66歳・平塚市)

教育委員

長嶋 徹氏 (68歳・大磯)

近藤陽一郎氏 (44歳・二宮町)

人権擁護委員

伊藤 博氏 (71歳・生沢)

# 審議に対する各議員の賛否結果一覧表

議案番号	議案	議員名（議席順）													結果	掲載ページ番号				
		坂田 よう子	竹内 恵美子	関 威國	三澤 龍夫	奥津 勝子	二宮 加寿子	清田 文雄	玉虫 志保美	片野 哲生	高橋 英俊	鈴木 京子	渡辺 順子	柴崎 茂			吉川 重雄			
1	大磯町歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	12				
2	大磯町職員の定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	—	可決	11				
3	大磯町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び大磯町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	—				
4	大磯町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	—				
5	大磯町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	—				
6	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	12				
7	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決					
8	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	—	可決					
諮問1	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	異議ない 旨答申	10 ～ 11			
9	平成28年度大磯町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決				
10	平成28年度大磯町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決				
11	平成28年度大磯町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	2 ～ 9			
12	平成28年度大磯町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決				
13	平成28年度大磯町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決				
14	平成29年度大磯町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	12		
15	平成29年度大磯町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決			
16	平成29年度大磯町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決			
17	平成29年度大磯町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決			
18	平成29年度大磯町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決			
19	教育委員会の教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
意見書 第1号	原発事故避難者に対する住宅提供の継続と生活支援を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	19

○は賛成 ●は反対 —は議長が賛否に加わっていない

## みなさんの陳情・請願はこうなりました

番号	件名	提出者	要旨	付託委員会	委員会の意見・結果
第1号	平成29年度からの特別徴収額の決定・変更通知書に受給者の個人番号を記載する件についての陳情	神奈川県保険医協会 理事長 森 壽生	個人番号の記載は情報流出の危険性があり、プライバシー侵害にあたる。よって、個人番号の不記載及び国へ省令撤回を求める意見書の提出を求めるもの。	—	机上配布

※机上配布：議会運営委員会での協議の結果、審査除外と決定し、所管の常任委員会へ付託しないとしたもの。

誰でも陳情書や請願（議員の紹介が必要）を議会に提出することができます。

詳しくは議会事務局にお問合せください。

61-4100（内線281）※提出の締め切り（6月定例会分）5月23日（火）午後5時まで

# 町政のここが聞きたい

## 一般質問

一般質問は、2月27日・28日に9人の議員から20問ありました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

詳細は会議録・ホームページ・DVD（図書館貸出）をご利用ください。

【文責は本人】

### 庁舎内に 福祉ショップの設置を 現状では難しい



清田文雄

**問** 障害者優先調達推進法施行後の町の取り組みは。

**町長** 障害者就労支援施設などが提供する物品などについて情報共有を図り、積極的な調達につながるよう努めている。

**問** 平成27年度の実績は。  
**答** 物品の調達が4千500円、役務の提供を受けたものが196万5千円であった。

**問** 物品の調達が少ないが、実行性を感じられないが。  
**答** いろいろな物品がある。直接町として購入できなくとも、購入しやすきなものもある。職員に周知していきたい。

**問** 昨年、大磯町福祉作業所等連絡会から出された役場庁舎内の物品販売の要望に対する回答は。

**答** 日数は増やせるが、時間帯を延長しロビーにスペースを確保することは難しいと回答している。

**問** 平塚市・二宮町では工夫し設置している。ロビー自販機を1台撤去するなど工夫をすればスペースが確保できるのでは。

**答** 自販機については、少なからず、町の貴重な財源の一翼にもなっており契約もある。さまざまな展示等もある中で、ロビーでの販売が可能かどうか今後検討したい。



平塚市庁舎内福祉ショップ

# 給食の充実のため 今後できる事は

## 生徒の声も聞き進める



山内 保実

**問** 一緒に同じものを摂り、食を学ぶ機会にしたという町の考えに基づく教育的要素の入ったスクールランチとはどのようなものか。

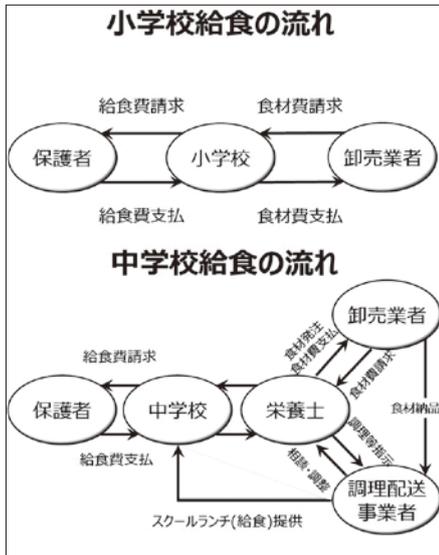
**教育長** 第二次大磯町食育推進計画の目標にあるように、スクールランチを通して自分の体に、どのような栄養や食量が必要かを考えさせ、将来、自分で食事をとるときに正しい判断ができる力を身につけ実践することを目指している。

**問** 教育的要素を取り入れても生徒が食べなければ意味はないと思うが。楽しく食べてもらえ

るよう、改良・工夫を続けていきたい。  
**問** 中学生の昼食をより充実させるために、今後できることは何か。  
**教育長** 生徒の意見をよく聞き、スクールランチの味つけや見た目などの改善に対応していきたい。  
**問** 生徒も納得いく形で今後進めてほしいが。  
**答** 今までも生徒・保護者へのアンケートや懇話会などを踏まえ決定している。今後も生徒自らの声も聞き、より良い給食を目指し進めたい。

### その他の質問

○大磯駅前ロータリー周辺について



# 消防の広域化・広域連携は

## 共同運用がはじまる



二宮 加寿子

**問** 火災の拡大防止対策として消防の広域化・広域連携の状況は。

**町長** 4月1日より、平塚市・大磯町・二宮町の1市2町で消防指令業務の共同運用がスタートする。管内の災害情報が一元化され、迅速な相互応援活動が可能となる。また、県内で発生した大規模災害では、災害地の消防力では対応が困難な場合に、政令指定都市を含む県内全ての消防本部による広域応援体制が構築されており、「かながわ消防」として市町村の区域を越えた消防応援活動により被害を最小限に抑

えら。大規模・特殊な災害発生で全国的な応援が必要となる場合は、緊急消防援助隊、警察、自衛隊等の部隊派遣について県知事に要請を行うことになっている。

**問** 火災発生時、消防団への出動指示の方法は。

**答** 現在、消防団に対し、電話やメールによる情報配信を行っているが、常備消防を優先するため伝達にタイムラグがある。共同消防指令センターでは、常備消防への出動指示と連動して情報メールを配信するため、より迅速に情報共有が図れるようになる。



4月1日から運用の消防指令センター



# 快適な職場環境の促進は

## 組織力の強化に取り組む



竹内忠美子

**問** 職員定数は。

**答** 平成29年2月1日現在、職員定数は260人、再任用職員は14人、任期付短時間職員は23人である。

**問** 年齢や採用年別の職員構成は。

**答** 20代が72人、30代が61人、40代が67人、50代が59人、60代が1人で、採用5年未満が32%、10年未満が7%、15年未満が10%、20年未満が5%、25年未満が13%、30年未満が19%、30年以上が14%である。

**問** 大幅に組織の若返りが進んでいるため、組織力の底上げを図っていく。仕事に慣れてこれらから戦力となる職員の退職が増えていると聞くが。

**答** 中堅職員が他自治体へ転職するケースが増えている。給与面もあるが、専門性を求めて転職する職員もいる。

**問** 組織の活性化のため、どのように快適な職場環境を促進するのか。

**町長** 町政をあくかかった者として、職員全体の仕事量について真剣に考え、組織内のネットワーク強化に取り組む。

**問** 地方分権以来仕事量は増えていると思うが対応策は。職員個々の働き方に任せるのか。

**答** 町政をあくかかった者として、職員全体の仕事量について真剣に考え、組織内のネットワーク強化に取り組む。



# 住民参画の基準をつくる考えは

## 整理して考えていく



渡辺順子

**問** 町民参画と協働の手法として委員会・審議会、ワークショップや意見交換、アンケートなどがあ

**答** 現在町には、パブリックコメントの指針しかない。駅前駐輪場建設ではさまざまな手法を使い、混乱が起きた。今後、整理し考えていく。

**問** 町民参加として関係団体からの意見を反映して進めている。

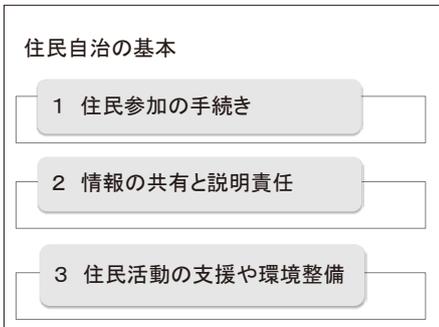
**問** 情報の共有と説明責任は「参画と協働」の大切な要素である。早い段階で町民に情報提供すべきだが、大磯港などとオアシス推進会議は公開されていない。なぜか。

**答** 既存の計画や要望等から駅前整備の方針はすでに決まっている。具体的な施策を決める段階であるため、予算要求はしたが何も決まっていない。

**問** 情報の共有と説明責任は「参画と協働」の大切な要素である。早い段階で町民に情報提供すべきだが、大磯港などとオアシス推進会議は公開されていない。なぜか。

**答** 公開しないのではな

○石神台地区太陽光発電



# 修正された 地域防災計画の配布は 4月頃を予定している



高橋英俊

**問** 法改正により修正された大磯町地域防災計画の配布はいつか。

**町長** 災害対策基本法の改正により、平成27年2月に「地震災害対策編」を修正した。また、土砂災害防止法、水防法の改正により、平成29年1月に「風水害等災害対策編」の修正を行った。計画書の配布は4月頃を予定している。

**問** 災害発生時の職員の参集と情報共有の方法は。

**答** 職員は安否確認メール等により参集する。災害対策本部会議を開催し、各部門と職員間の情報共有を図っている。

**問** 災害対策基本法の改正ポイントは。

**答** 市町村長は、高齢者や障がい者等の避難にあたり特に配慮すべき者について、必要な個人情報を利用して名簿を作成し、消防や民生委員等の関係者への情報提供が可能となった。

**問** インフラ対策について  
幹線17号線の認識は。

**答** 平塚市に接する重要な路線であり平成29年度に路盤整備を行う。

**問** 国府新宿の日吉跨線橋の管理と今後の予定は。

**答** JRと早急に協議し、平成31年度の工事を予定。



大磯町地域防災計画

# 長時間労働の町職員 業務量調査を 業務の見直しは必要



鈴木京子

**問** 仕事量は増えているが、職員数は増えない。中途退職も後を絶たない状況で住民サービスは低下しているのではないかと業務量調査やアンケートで働き方の実態把握をして職員モチベーションを上げる対策をとるべきでは。

**町長** 事務量は増加の一途をたどり、加えて柔軟な対応も求められる。特に若い職員にかかる負担は相当きついため見直しをしなければならないと思う。

**問** 残業がものすごく、22時、23時は当たり前でサービス残業をしていないと言える職員はいない

と確信している。年次休暇は年20日とれるが、5日もとれていない。

**答** 平成27年度は158人に支給、100人は管理職のため、支給していない。

**問** 就業管理システムは時間外の適正管理でどう使われているのか。

**答** セキュリティがメインである。

**問** 残業時間の基になっているのか。

**答** 乖離があるので、補正予算などの際の参考にしている。

**その他の質問**  
○新たな公共施設建設と町民参加について 他



夜遅くまで明かりのつく庁舎

# 一般質問でパワーポイントを活用

大磯町議会では、よりよい議会運営のため「議会改革に向けて継続的に検討を進める事項」を定めています。

その中のひとつである「パワーポイントの活用」を今定例会の一般質問から試行的に導入しました。

執行機関や傍聴者に論点や争点をわかりやすく伝えることができるように写真や表を用いながら、3名の議員が一般質問を行いました。

今後も傍聴者やテレビの視聴者などの意見を参考に検討を進めます。

活用までの経過

▼平成28年5月16日

議会運営委員会において検討事項に「パワーポイントの活用」を追加。

▼平成28年12月19日

議員全員協議会で「パワーポイント活用の運用基準」を決定。



パワーポイント活用のようす

## 意見書を提出

### 原発事故避難者に対し住宅提供の継続と生活支援を



#### 議員研修会

#### 議会運営のICT化を検証

1月11日、東京インターネット(株)の金煥寿氏を講師に招き、「地方議会におけるタブレットの有効性」をテーマに議員研修会を行いました。

研修会では、議員全員がひとり1台、実際にタブレット端末を操作し、議会での活用の可能性を学びました。

ペーパーレス化によるコストの抑制、議員の利便性向上や職員の負担軽減が図れることから、タブレット端末を活用した議会運営を行なう議会が増えています。

導入に係る費用等の課題はありますが、これらの議論に生かせる研修となりました。

平成29年3月をもって、避難指示区域外の避難者に対する住宅の無償提供が打ち切られる。

避難者は、原発事故の影響と子どもたちの健康を案じて故郷の福島県を離れ、さまざまな困難に耐えながら生活を営み、子どもたちを育て、失った生活を取り戻す努力をしてきた。

神奈川県内へ避難し、生活する人も多く、県の調査によれば、72%が今後も住み続けることを希望し、住宅支援の継続を求めている。「もう転校はしたくない」という子どもたちの声も寄せられている。

1. 当面、避難者が現在の場所で生活できるよう住宅の無償提供を継続すること。
  2. 被災者の実情に対応した長期的な生活支援のための制度づくりを行うこと。
- 提案者 渡辺順子  
賛成者 関 威國  
清田文雄・玉虫志保実  
高橋英俊・鈴木京子

予算審査

補正予算

議案審査

審議結果

一般質問

議会活動

3月議会で歯及び口腔の健康づくり推進のための条例が制定されました。

国府保育園を訪問したところ、給食後に笑顔で歯磨きの順番を待っている園児に出会いました。みんなが一生懸命、歯磨きをする姿を見てとても嬉しく思いました。

小さい頃から歯磨きの習慣をつけることは大切なことです。楽しく歯磨きを続けてほしいです。



撮影

議会だより編集委員会

## 議会だよりの表紙を飾りませんか

議会だより編集委員会では、第187号（平成29年7月27日発行）の表紙写真を募集しています。

### テーマ：「笑顔」

応募期間：平成29年6月23日まで受付  
※応募上の注意や応募方法は、議会だより第184号または大磯町議会ホームページでご確認ください。

問い合わせ：大磯町議会事務局

## 議会スナップ



2月10日 総務建設常任委員会行政視察（仮称）リサイクルセンター建設現場を見学。



2月16日 議場にて、大隅良典氏への名誉町民称号贈呈式が行われました。

## 議会報告会へぜひご参加ください

予算報告の他、少人数に分かれて意見交換も行います。ぜひ、皆さんの声をお聞かせください。

**5月13日（土）**

10：00～11：30 国府支所2階会議室

15：00～16：30 保健センター2階研修室



当日はこの「議会だより」をお持ちください

## 6月定例会

6月2日（金） 議案上程等

8日（木） 一般質問

9日（金） 一般質問

16日（金） 委員長報告等

湘南ケーブルテレビ  
地上デジタルSCN101  
チャンネルにて放映

生放送9時～、  
再放送は19時～

## 【編集後記】

4月より、新年度が始まりました。3月議会初日に議場で行われた大隅教授の名誉町民の伝達式や4月1日には多くの方の寄付により再建された旧吉田茂邸のオープンと嬉しい出来事が続きました。

また、3月議会では、平成29年度の当初予算の審査が行われました。この号にも、その審議内容は掲載されていますが、5月の議会報告会においても詳しくご説明いたしますので是非ご参加ください。

### 【発行責任者】

議長 吉川 重雄

【議会だより編集委員会】

委員長 渡辺 順子

副委員長 清田 文雄

委員 竹内恵美子

二宮加寿子

玉虫志保実

高橋 英俊

【オブザーバー】

副議長 坂田よう子